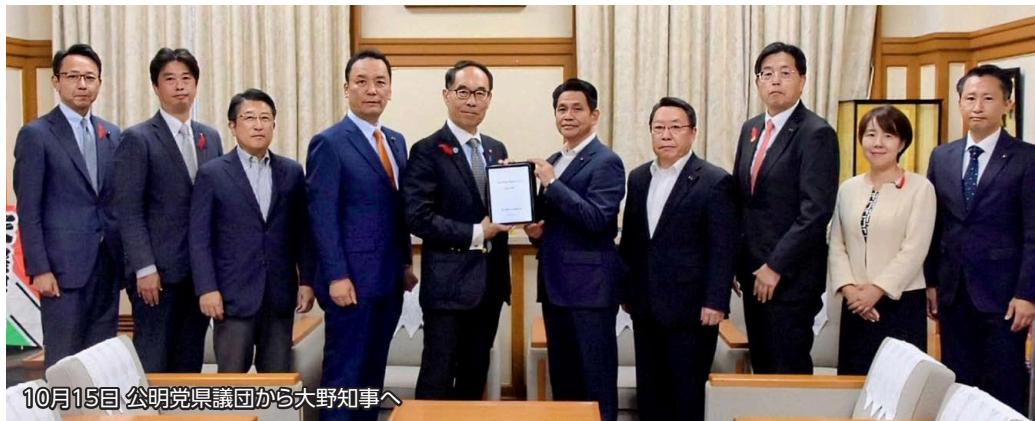


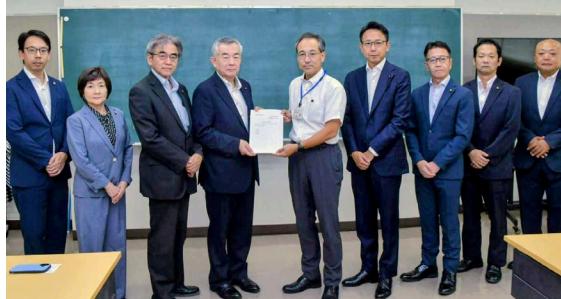
県政を前に！大野知事へ令和8年度予算要望

八潮市道路陥没事故に伴う対応、物価高騰対策、福祉や教育など15分野378項目



10月15日 公明党県議団から大野知事へ

公明市議団とともに、住民の切実な声届ける！
交通安全対策（信号や横断歩道）、道路・河川など防災対策



9月26日 川越県土整備事務所へ要望



10月14日 川越警察署へ要望

埼玉県議会議員 深谷けんじ

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 51歳
神藤幼稚園卒園、川越市立南古谷小・中学校卒業
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
2023年4月埼玉県議会議員2期目当選 現2期
公明党県幹事・企業局長
公明党川越総支部 総支部長
総務県民生活委員会 委員
経済・雇用対策特別委員会 副委員長



ホームページ



Youtube



埼玉県庁公明党控室

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所

〒350-0015 川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

公明党議員団

埼玉県議会議員

深谷けんじ

2025-2026

22号

令和6年度
決算特別委員会

県議会ニュース

県政につなぐ。
未来へつなぐ。



論戦の要は 現場の声



令和6年度の事業を審査する決算特別委員会が、10月24日～11月7日まで開催されました。深谷けんじは委員の一人として、各種団体の皆様との意見交換や地元地域など現場を動くなかで伺った声をもとに、執行部と活発な論戦を交わしました。委員会で発言した「改善又は検討を要する事項」については、中面に記載しています。

9月定例会

八潮市道路陥没事故関連 補正予算が成立

公明が住民の声届け車等金属部サビと健康被害も今後補償へ

1

全国特別重点調査の結果を踏まえ
速やかな対策が必要な箇所で改築
工事等を実施

2

下水道管及び陥没した道路の復旧
工事の影響を受ける住民及び
事業者へ補償等を実施

55億円

7.8億円

「改善又は検討を要する事項」として発言した内容

企画財政部

- 経常収支比率について、引き続き財政構造の改善に取り組むこと。

警察本部

- 交通バリアフリー化対策のさらなる推進に努めること。

総務部

- 県発注工事における不調・不落抑制対策に引き続き取り組むこと。

産業労働部

- 奨学金返還支援事業について、県内中小企業へのさらなる広報を図るとともに、奨学金を借りている学生へのダイレクトな情報提供等周知の強化を図ること。

福祉部

- 妊産婦等生活援助事業について、支援を必要とする妊産婦等を確実に受け入れるとともに、事業のさらなる周知に努めること。

環境部

- 県有施設における脱炭素化のさらなる推進と災害時のエネルギー・リソースを強化するとともに、地域のリソースという観点からVPPやDRの活用も視野に入れた取組とすること。

保健医療部

- 埼玉県医師育成奨学金制度は、医師確保対策としてさらなる効果が出るよう努めること
- ドクターヘリの安定的な運航のため、実態に即した補助金額を確保できるよう引き続き国に対して要望すること。
- 埼玉版FEMAによる感染症対応訓練に繰り返して取り組み、課題を検証することで、感染症への対応力強化を図ること。

危機管理防災部

- 消防団員の準中型免許取得促進については、市町村への働きかけをさらに進め、引き続き支援に努めること。

企業局

- 浄水場における停電対策について、瞬時電圧低下への対応を含め、さらなる強化に努めること。



令和5年12月 一般質問・答弁(要旨)

深谷けんじの 2年前の提案が実現!

災害復旧工事の不調不落* 防止 対策「埼玉県フレームワーク方式」 が試行へ

*不調不落とは??

建設資材高騰や人手不足等により公共工事の入札が成立しないこと。

Q

建設業界の人手不足などを背景とした不調・不落対策も喫緊の課題である。フレームワーク工事とは、複数の同種工事についてあらかじめ参加予定者の意思を確認し、施工能力を審査した上で、入札参加希望者名簿を作成、工事ごとに指名競争入札などを実施する方式である。この方式により災害対応や近隣地域の施工実績と地域を支える建設業に配慮できる。本県での導入を提案する。

A

入札の不調不落は、工事の円滑な執行の妨げになり、供用開始の遅れなど、県民生活への影響も懸念される。例えば、大規模災害が発生し、同時期に多くの復旧工事の発注が必要となる場合には、地元建設業の施工体制が整わず、不調不落の増加が懸念されることから、フレームワーク方式導入について研究していく。

10/28～試行の「埼玉県フレームワーク方式」とは

複数の管内に跨る災害の場合には、被災した地域において同時期に数多くの本復旧工事を発注することが想定されることから、災害の発生していない地域からの応援を促すスキームを構築する必要があります。このため、災害復旧工事の不調不落防止に活用することを目的として、「埼玉県フレームワーク方式(指名競争入札)」を試行します。



埼玉県ホームページ
県政ニュース
報道発表資料

